事業名 まちなか婚活推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業		市長公約	2-9	総合戦略	該当あり
	施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

		部	産業文化スプ	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織		課	産業政策課		まちなか婚活推進事業	予算	款	7	新規or継続	継続事業
		係	まちなか活性	化係	よりなが知点批准事未	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	121	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業	開始年度	H28	実施方法	一部委託
		政策	2	地域資源を活かしたまちづくり	なし	期間	終了年度		事業分類	イベント等開催事業
		施策	1	中心市街地及び地域市街地の活性化						_

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 結婚を希望する独身男女の希望を叶えるため、中心市街地等において出会いの場を提供する。

(2)目的

(3)目標値

			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	目的		婚活によりまちなか来訪を促した数	人	0	20	30	36	36
	(本事業に								
	(本事業に よって成し 遂げたい								
	状態)								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(=) , 11 =	320130	(ロ) バロエガ じかり バブ ひえバニン	7700 3700				
		活動指標	単位	R3	R4	R5	
	 とちぎ未来クラブ後援のもと、さのまちづくり(株)へ業務委託し、婚活	業務委託発注回数		1	1	1	
\てチLは16=	イベントを開催した。また、参加者全員に対し、まちなかの協力店舗						
活動実績 (R5年度に行った主な活動内容) が (R5年度に行った主な活動内容) が (R5年度に行った主な活動内容) が (R5年度) が (R	で使えるクーポンを発行した。						
		事業費計	千円	0	792	1,000	
	参加人数 38名 (男性18人・女性20人)	一般財源	千円	0	792	1,000	
	カップル成立数 7組	特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0	

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
			婚活によりまちなか来訪を促した数	人	0	30	38	値が大きいほど良い	効果が上がった
	効果説明	婚活イベント参加者38名にまちなかの協力店舗で使えるクーポンを							
	(定量及び 定性)	配布し、来訪を促進した。また、7組のカップルが成立した。							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した	\cap		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

婚活という繊細なイベントであるという性質や十分な広さの会場が乏しいことから、中心市街地内での適切な会場設定が困難である。また、まちなかの賑わい創出といった観点からは、他の事 業に比べて事業による効果が低く、課題が多く存在するまちなか活性化の取組みの中では職員人件費を含めた費用対効果が低い。事業の在り方(所管替え等)についての検討が必要である。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

V	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
	事業効果を上げるための事務改善の検討	

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

まちなか活性化を目的とした婚活イベントとしては廃止を検討する。

仕事	の振り	り返りシート(令和5年度	実施分)				作成·更新日	2024年	年7月23日		
事業名	まちなかり	にぎわい空間維持管理事業	実施計画事業or一般事業			市長公約		総合戦略			
· 甘士/	·±+0		施策横断的な取組との関連性	SDGs	s 該当あり	コンパクトシティ	ィ 該当あり	スマートシティ	該当なし		
1. 基本情	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	4	会計	一 般	到事業計画	単年度	繰り返し		
		産業政策課	まちなかにぎわい空間維持管	予算			7 新規or継続		事業		
J==	係	まちなか活性化係	理事業	科目	項		1 市単独or国県補助		独事業		
	体系コード		根拠法令、条例等		目		2 義務or任意	任意的	的事業		
政策体系	基本目標		佐野市中心市街地活性化広場条				実施方法		逐 託		
IXXIII.	政策	2 地域資源を活かしたまちづくり 1 中心市街地及び地域市街地の活性化	例、佐野市中心市街地活性化広場 条例施行規則	期間	終了年度		事業分類	施設維持	持管理事業		
(1)事業	業概要	及び (基本計画期間内) 目標値 おけるイベントの開催や市民の憩いの場として提供するため									
事業概要	災害時に活用できる設備(かまどやトイレ)の維持官理を行つ。										
(2)目的	力		(3)目標値	一出位	D2	D4	DE	D6	ח דת		
目的		•	効果指標 中心市街地歩行者通行量(平日·5日)	単位人	R3 4,300	R4 0 4,400	R5 0 4,500	R6 0 4,600	R7 0 4,700		
(本事業に	当該施設症	を活用し、中心市街地の賑わいの創出及び市民の交流		 ^	7,555	7,100	7,555	7,000	7,700		
よって成し 遂げたい	を促進する			<u> </u>	† <u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u></u> '			
逐けたい 状態)								'			
			'	<u></u>	<u></u>		<u> </u>	'			
3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移 活動指標 単位 R3 R4 R5											
		•		· -	-			4			
		兄 7月2日 (土)	施設を利用したイベント数		2						
注新宝 结	-	防災設備点検及びハンドドリップ教室開催	業務委託発注回数		1	1 1	1 1	.]			
活動実績 (R5年度に	_	参加者:防災士連絡会会員等 3.与徐の実施(南党,際時)	'								
行った主な活	≠ ・日代による	る点検の実施(直営・随時) ごみや張り紙の撤去(直営・随時)	事業費計	千円	95	5 85	5 58	1			
動内容)		どめや張り紙の撤去(直宮・随時) 関定や除草作業(業務委託)	一般財源	+ -				_			
		活用できる設備や物品の点検(直営)		1				-			
	^	ДП СС Фих ил гран голого	特定財源(国・県・他)	千円		0	/ 0	0			
			(うち受益者負担)	千円	0	0	0 0	<u>, </u>			
- (3)活	動による効果	₽	(4)事業効果を説明する数	- 纨値デ-	- -タの推移	_	_	- ↓選択して	て下さい		
	3.25	•	効果指標	単位	R3	R4	R5				
効果説明	維持管理	を適切に行うことによって、市民の憩いの場を提供できた。	中心市街地歩行者通行量(平日·5日)	人	4,716	5 5,125	5,675 دُ	値が大きいほど良い	効果が上がった		
効果説明 (定量及び		前点検及びハンドドリップ教室開催」を開催することにより、				 		 '			
定性)		在や機能について知ってもらうことができた。				+		+			
						+	+	+			
/-> 弗/	<u>+</u>					<u> </u>		1			
	用対効果結り 5とR4の一般	5果(自動判定) 受財源増減) 費用の増減無し	コン・マーロハ トの検索に FD判断				効果		4		
		がった指標数 1指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった		効果が下がった	A		
効果 (R5とR4の	効果は変わり	Oらない指標数 0指標	₫ '	費	費用は下がった		773-13-	Maria	4		
指標值増減)	M = M = M	がった指標数 <u>0指標</u> 指標全体 効果が上がった	∄ '	用	費用の増減無し費用が増加した				4		
(1) 令和	度に向けた検 和 5 年度の事		見等を踏まえた検討課題、費用	対効果							
なし											
(2)上部	記反省点及(なび課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	٦							
	・ 事業の在り	り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	4Xが出まだり1	т							
		を上げるための事務改善の検討	随時業務改善を行いながら、引	21/生生:	商切か維持等剤	田を行う					

随時業務改善を行いながら、引続き適切な維持管理を行う。

□ 事業費の見直し検討

業務時間効率化のための事務改善の検討♥ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

2 地域資源を活かしたまちづくり

1 中心市街地及び地域市街地の活性化

施設等整備事業

事業名	駅南公園	園西土地区	区画整理事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業		市長公約	5-⑦	総合戦略	該当なし	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情報											
	部	都市建設部		予算中事業名		会計	一般会計	事業計画	期間限定	複数年度	
	課	都市整備課		- 駅南公園内土地区画整理事業		款	8	新規or継続	継続	事業	
	係	市街地整備	係			項	4	市単独or国県補助	国県補	助事業	
	体系コード	121	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的	事業	
政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	土地区画整理法 佐野市足利佐野都市計画事業駅	事業	開始年度	H29	実施方法	一部	委託	
	TI 66	_	ULLENANT 4 NT 1 1 4 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ルキュー・ルケイ・ルイナン・ローリー 一十 未別	#088	//			ユーニロ ケケ 士	+ +++ +- ×114	

南公園西土地区画整理事業施行

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

政策

事業概要 市道佐野57号線の拡幅整備にあたり、防災面や土地利用、中心市街地活性化等の観点から、一部区間について土地区画整理事業により整備する。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		土地の使用収益率(累計)	%	21.4	33.4	38.6	55.6	62.7
(本事業に	道路等公共施設整備により利便性・防災性が向上することにより、	道路工事進捗率(累計)	%	0.0	9.4	182	18.2	39.4
よって成し 遂げたい	土地利用価値の増進を図る							
状態)								
,								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

期間

終了年度

R10 事業分類

· - / ·		(-)		3 7147 4 736	- 1/	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		工事発注金額	千円	2,200	7,227	4,187
\		業務委託発注金額	千円	17,028	2,266	19,041
(R5年度に 行った主な活	・物件移転補償 建物1棟 ・区画道路築造工事 ・流末排水路測量業務委託					
		事業費計	千円	97,752	72,277	55,816
±//r 1 /⊡ /		一般財源	千円	15,102	9,446	24,221
		特定財源(国·県·他)	千円	82,650	62,831	31,595
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)

物件移転が遅れている影響により、土地の収益も道路工事も遅延 していることから、令和5年度の土地の収益率及び道路工事進捗 率の増加は微増にとどまった。

	(4)事業効果を説明する数	他アーク	が推移			↓選択し(· 1901
	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
Œ	土地の使用収益率(累計)	%	21.4	33.4	38.6	値が大きいほど良い	効果が上がった
<u>u</u> =	道路工事進捗率(累計)	%	0.0	5.1	8.0	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
が田	効果が上がった指標数	2指標
効果	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した	0		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

相続問題により物件移転が進んでいない。

(2)	上記反省占及が課題を踏まえた。	令和6年度及び令和7年度の取締	H

□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者)	負担の見直しなど)
---------------------------	-----------

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

区画整理法第77条により直接施行の実施も視野に入れ事業を進めていく。

業名	佐野駅前	ううこう うきゅう かんりょう かんりょう かんしょう しゅう かんしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	げ指定管理事業	実施計画事業or一般事業	_	-般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	
	L++=			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当
. 基本		産業文化スプ	+° w≠ï	予算中事業名		∆≣∔		事業計画	単年度	名と
当組織	課	産業政策課		7 异甲争未石	予算	会計款		争未可回 新規or継続		事業
그 아그마氏	係	まちなか活性		佐野駅前交流プラザ指定管理事業	科目	項		市単独or国県補助		は事業
	体系コード	121	名称	根拠法令、条例等	' '	目	2	義務or任意		的事業
策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市佐野駅前交流プラザ条例	事業	開始年度	H22	実施方法	指定管	管理者
水冲ボ	政策		地域資源を活かしたまちづくり	佐野市佐野駅前交流プラザ条例施	期間	終了年度	_	事業分類	施設維持	管理
	施策	1	中心市街地及び地域市街地の活性化	行規則]					
	既要と目的及 業概要 	なび(基本計	画期間内)目標値							
- 1702		機関利用者の	利便向上及び中心市街地の活性化を推		切な管理	運営を行う。				
2)目的	ry 			(3)目標値 効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R
目的				中心市街地歩行者通行量(平日・5日)	人	4,300				
事業に	本施設を活	用し、中心市	5街地の賑わいの創出及び公共交通機関	市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	千人	150	140	150	160	
て成し げたい	利用者の利	l便性の向上を	を図る。							
態)										
	動実績		月対効果) 説明	(2)活動を説明する数値元		バ事業費の推移 T	\$ T		1	
			及び観光案内所、2階が多目的ホールであ り、多目的ホール及び交流広場は市民に	活動指標	単位	R3	R4	R5		
			定管理者は、施設設備の維持管理を行	施設利用者	人	35,099	40,494	49,822		
			して交流広場及び多目的ホールでまちな	指定·自主事業実施回数		8	39	50		
加実績 年度に	か活性化の	ための事業を	実施している。							
年度に主な活	i			事業費計	千円	30,991	31,422	32,955		
内容)				5 11 15 15 1		,	,	,	1	
				一般財源		30,991	,			
				特定財源(国·県·他)	千円	0	1	0		
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
) 活動	動による効果			(4) 事業効果を説明する数	女値デー	 タの推移			↓選択し ⁻	て下さ
, ,шз				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
3 = 14 n c				中心市街地歩行者通行量(平日5カ所)	人	4,716	5,125	5,675	値が大きいほど良い	効果が
製説明 量及び		盛んな商業は	也域となっている。	市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	人	158,529	166,659	182,153	値が大きいほど良い	効果が
性)	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						-			
		_				I	l	I .	1	
. =-	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	果(自動判定		1 — — m. 1 144. n 142. 112.				## EP		1
,	とR4の一般	財源増減) った指標数	費用が増加した 2指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	効果が下がった	
月 (R5			2指標 0指標	<u> </u>	費	費用は下がった		が木は夕わりない	אטארווי רווייטוני	
用(R5 効果	効果は変わり				-	弗田の協定無				i
,			0指標 効果が上がった		用	費用の増減無し				

取組説明

技術センターや専門業者等の意見を参考に、必要な修繕等を先行して実施する。

び日々の見回りを通し、利用者が安全に利用していただけるよう指定管理者と修繕や改修について検討・実施する。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

業務時間効率化のための事務改善の検討 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

☑ 事業費の見直し検討

仕事	の振り	の返りシート(令和5年度	実施分)				作成·更新日	2024 ^年	年7月22日
事業名	佐野駅前	j交流プラザ熱中症対策温度計設置事業	実施計画事業or一般事業	_	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
1. 基本情		1	施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ			
		産業文化スポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年/	度のみ
		産業政策課		予算			7 新規or継続		事業
J=,		まちなか活性化係	生野駅前交流プラザ熱中症対策温度計設置事業	科目			1 市単独or国県補助		独事業
	体系コード		根拠法令、条例等			_	2 義務or任意		的事業
	其木日煙			事業			5 実施方法		営
政策体系	政策	2 地域資源を活かしたまちづくり	1				5 事業分類		に対する事業
		1 中心市街地及び地域市街地の活性化 及び (基本計画期間内) 目標値							
事業概要	佐野駅前3	交流プラザぱるぽーと敷地内に熱中症対策のための温度言	計を設置する。						
(2)目的	约		(3)目標値						
			効果指標	単位		R4	R5	R6	R7
目的	近年 本市	 ちが最高気温日本一を記録する事例が増加していること	市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	千人	150	140	0 150	160	170
(本事来に		駅前に屋外気温表示機を設置することにより、市民及び	.[<u> </u>				'	
遂げたい		熱中症予防への注意喚起を図る。				<u> </u>		<u> </u>	1
状態)	/KI25 E.	(TAIL 1. M.) ANITION YOUR COMPANY				 		 	4——
	<u> </u>		1	<u></u>				<u> </u>	
3. 前年度 (1)活動		活動及び費用対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ 活動指標	データ及び 単位		多 R4	R5	7	I
'	A	'			_		-	4	
'	A	'	温度計設置数	機	0	0	0 1		
活動実績	/ / 田式用尺前;	交流プラザばるぽーと敷地に、太陽電池式中型温度計	観測施設設置届	件	0	0	0 1	_	
(R5年度に	表示機(温	父派ノフリはるは一と叙地に、太陽竜池式中至温度計 温度センサー付)を設置。					<u></u>		
行った主な活	7	応援センリーヤリーを設置。 象台長宛てに気象観測施設設置届を提出。	事業費計	千円	0	0	2,068	3	
動内容)	THUM		一般財源		0	0	,	-	
'	A	ı		1					
'	A	,	特定財源(国・県・他)	千円	0		,		
		!	(うち受益者負担)	千円		0	0 0		
(3)沽里	動による効果	<u>:</u>	(4) 事業効果を説明する数			T 54	T 55	↓選択して	
	A	'	効果指標	単位		R4	R5	3H 131 - 1H27 C	
効果説明	佐野駅前3	交流プラザ施設の壁面に、温度計表示機と併せて注意	市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	人	158,529	166,659	9 182,153	値が大きいほど及い	効果が上がった
(定量及び		重幕を掲出し、広く熱中症対策を呼びかけることができ				+	+	+	
定性)	た。	'				+	+	+	
	A	'				+	+	+	
			1						
		果(自動判定)	T no testable				S.I. page		-
費用(R5	5とR4の一般	* ***	※10万円以上の増減により判断			STERNIC LANGE	効果		4
効果	効果がエル	<u> </u>	4	費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	4
(R5とR4の 歩煙値増減)	効果が下が	がった指標数 0指標	1	月用	費用の増減無し	, 0			4
指標値増減)		指標全体の対果が上がった	<u>.</u>	H	費用が増加した				1
	度に向けた検 和 5 年度の事	検討 事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用	対効果	:向上のための訝	!題			
継続して太	陽電池式中	中型温度計表示機の適切な管理を行っていく。							
(2) F	□ 后 省 占 及 ′	び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組	1						
(4) 1	DX 日示人、	プ訴認を始まんに、7410 十次人∪ ロル・ブスンへ	取組説明	1					
	事業の在り)方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	4人が1100つ)						
		を上げるための事務改善の給討		uu,					
	事業費の見		温度計設置を完了したため、本	を事業に	‡廃止する。				

工作物保険料等は駅前交流プラザ施設の管理事業に予算計上する。

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ▼ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

仕事	の振り)返り>	シート(令和5年度	実施分)				作成·更新日	2024年	7月22日
事業名	佐野新者	『市バス開	業20周年記念事業	実施計画事業or一般事業	_		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当あり
1. 基本情			10			L . = .		I		
I = 11.6 = 640	-	産業文化ス	1	予算中事業名		会計		事業計画	単年月	
担当組織		産業政策課		佐野新都市バス開業20周年		款		新規or継続	新規	
	係 体系コード	まちなか活性 121	•	記念事業根拠法令、条例等	科目	項 目	_	市単独or国県補助 義務or任意	市単独任意的	
	基本目標		魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	似观点中、未闭寺	車業	開始年度		実施方法	直	
政策体系	政策		地域資源を活かしたまちづくり	-		終了年度		事業分類	支援	
	施策		中心市街地及び地域市街地の活性化	-	الماله	心了千皮	IN.J	于未力权	又报	尹未
(1)事業	機要 路線バスの表 議会による表	利用促進及で	・画期間内)目標値							業連絡協
(2) 54	<u> </u>			(a) DE#						
(2)目的	3			(3)目標値	22/1		5.4	D.F.	D.C.	5.7
目的				効果指標 デジタルスタンプラリー参加者数	単位	R3 0	R4 0	R5 100	R6 0	R7 0
(本事業に	イベントへの	参加を通し7	、路線バスの魅力を知ってもらい、路線バ	市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	人	150				170
よって成し			†街地への来訪者を増加させる。		17	130	140	150	100	170
遂げたい 状態)	7 (°5,13) IAC.		PIEST WOOKEN II CHINACC BO							
1人忠)										
3. 前年 (1)活動		5動及び費用	月対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	" ータ及て	が事業費の推移	7			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
	【佐野市の流	舌動】		イベントの開催回数		0	0	1	1	
			連絡協議会に160万円の交付金を交付し	170日の開催回数	ഥ	U	0	1		
活動実績	た。									
(R5年度に	【佐野新都	市バス事業選	直絡協議会の活動】							
、 行った主な活	・デジタルスク	タンプラリーを ^っ	令和6年2月1日~令和6年3月15	事業費計	千円	0	0	1,600		
動内容)	日の期間で	開催。バス車	中の他、佐野市内19箇所の公共施設や		千円	0	0		1	
	観光施設に	スタンプポイン	ルトを設置した。		-					
	・システム運	営、景品の駅	觜入、発送、チラシの作成等を行った。	特定財源(国・県・他)	千円	0	0	1,600		
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
(3)活重	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	・ ケ値デー:	タの推移			- ↓選択して	下さい
(3) /山主),CQ 0////K			効果指標	単位	R3	R4	R5		R4とR5の比較
	4447.04	+n+x1-++1 -		デジタルスタンプラリー参加者数	人	0	0	144	値が大きいほど良い	効果が上がった
			、路線バスの魅力を発信することができ 战や出演により、路線バスを身近に感じても	市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	人	158,529	166,659	182,153	値が大きいほど良い	効果が上がった
(定量及び 定性)	らうことができ		27日次により、 四級ハスで另近に恋してし							
~==)	יייייייייייייייייייייייייייייייייייייי	2700								
(5)費用	用対効果結果	艮(自動判別	È)							
	とR4の一般原		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が	った指標数	2指標 0指標		7889	弗田はてがった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果は変わら効果が下が	った指標数	0指標	=	費	費用は下がった	0			
指標值増減)		指標全体	効果が上がった	1	用	費用が増加した				
	きに向けた検 115年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用	対効果	句上のための課	題			
なし										
(2) 上訂	己反省点及び	/課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組		7					
				取組説明						

目的を達成したため、令和5年度をもって終了

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

業務時間効率化のための事務改善の検討√ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

作成·更新日 2024年7月18日

事業名	佐野新都市	線(万葉浪漫バス)	運行支援事業	実施計画事業or一般事業	_	-般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	•			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	青報									
	立	ナンナーツが		マ 質由車業々		△≡∔		車券計型	出任由	品のご口

	部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	課	産業政策課		佐野新都市線(万葉浪漫バス) 運行支援事業	予算	款	7	新規or継続	継続事業
	係	まちなか活性	:化係	拉打和审问 (八) 朱.欣.授八人) 连门又放于朱	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
	体系コード	121	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業	開始年度	R5	実施方法	直営
IXW MYN	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度	_	事業分類	支援事業
	施策	1	中心市待地及び地域市待地の活性化						

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 新型コロナウイルスや原油価格・物価高騰の影響を受けた令和4年度における佐野新都市線(万葉浪漫バス)運行を、補助金の交付により支援する。

(2)目的

(3)目標値

н									
			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	目的		佐野新都市線利用者数	千人	140	94	100	106	112
	(本事業に	バス路線の継続により佐野新都市地区の来訪者を中心市街地に	1便平均乗車人数	人/便	15	16	17	18	19
	よって成し 遂げたい	誘客する。	市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	千人	150	140	150	160	170
	状態)								
	177007								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(I / / L =	55/NR		///	7 子来只吃1000	4	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		車両台数及び運転士数	仕業	3	2	2
ハイチレウン (本	【市の活動】 ・事務局として佐野新都市バス事業連絡協議会を2回(10月・	1日運行数(平日)	便	27	17	17
活動実績 (R5年度に	12月)開催し、運行継続の支援及び利用促進策等を協議した。					
行った主な活動内容)	・令和4年度運行事業に対する事業者の負担金決定・支出した。	事業費計	千円	0	0	677
勤门合)	【支援した団体の活動】 中心市街地と新都市を結ぶ路線バスを運行させた。	一般財源	千円	0	0	677
		特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

上選択して下さい

(3)/11=	3/1C& 0/1/X	(ユ) 予本が不らいりょうか		ノペノリエイン			₩ 1551/ (C (L I CVI
		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
±1 cm=¥ nn		佐野新都市線利用者数	人	127,744	100,399	83,372	値が大きいほど良い	効果が下がった
効果説明	運行が継続され、中心市街地や新都市への市民等の来訪に寄与 した。	1便平均乗車人数	人/便	13.4	17.0	14.1	値が大きいほど良い	効果が下がった
(定量及び 定性)		市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	人	158,529	166,659	182,153	値が大きいほど良い	効果が上がった
足江)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費田(P5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
東市 (113		具用が 相加した
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	2指標
指標值増減)	指標全体	効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

			効果						
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった					
費	費用は下がった								
	費用の増減無し								
用	費用が増加した			\circ					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

公共交通全体では利用者数はコロナ禍前の状況に戻つつあるなか、佐野新都市線は利用者数が減少傾向にある。令和5年度においても、赤字収支が見込まれる。学識経験者からは、「公共交通については利用者の利便性向上が第一で、公共交通は基本的に赤字経営であり、将来的に路線の一本化が望ましい。現状ではPR事業を生活路線バスと共に実施して市公共交通の認知度向上と利用促進を図ってはどうか」とのアドバイスを受けた。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

✓	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
	事業効果を上げるための事務改善の検討
	事業費の見直し検討
	業務時間効率化のための事務改善の検討
П	特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

令和6年度は関係部署・団体と今後の公共交通の方向性と利用促進策を横断的に協議していくこととなった。

作成・更新日 2024年7月9日

事業名 佐野新都市バス事業協議会支援事業	実施計画事業or一般事業		·般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

		部	産業文化スプ	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	産業政策課		佐野新都市バス事業協議会	予算	款	7	新規or継続	継続事業
		係	まちなか活性	化係	支援事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	121	名称	根拠法令、条例等			2	義務or任意	任意的事業
_	政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野新都市バス事業連絡協議会設 置要綱、	事業	開始年度	H14	実施方法	直営
	IXXX IT /I	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり	直安神、 佐野新都市バス事業連絡協議会運	期間	終了年度	l	事業分類	支援事業
		施策	1	中心市待地及び地域市待地の活性化	学而经			·	<u> </u>	

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

中心市街地と新都市を結ぶ佐野新都市バス事業を(株)関東自動車が実施するにあたり、関係機関が互いに連絡調整することにより事業の円滑な推進を図る協議会であ 事業概要 る。事務局として協議会の諸活動を行うとともに、負担金の支出等を通して支援を行う。佐野新都市バス事業連絡協議会組織 佐野市、(一社)佐野市観光協会、イオン リテール(株)、三菱地所・サイモン(株)、(学)佐野日本大学学園

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		佐野新都市線利用者数	千人	140	94	100	106	112
(本事業に	佐野新都市線が安定して運営され、バスを利用した中心市街地と	1便平均乗車人数	人/便	15	16	17	18	19
よって成し 遂げたい	新都市間の移動が促進される。	市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	千人	150	140	150	160	170
状態)								
i vav								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(-)	324	(=) (=) (=)	,,,,,) /(J())					
	「市の活動」	活動指標	単位	R3	R4	R5			
	・協議会の一員として佐野新都市バス事業連絡協議会に2回 (10月・12月) 出席。	協議会の開催	回	3	1	2			
	・負担金の支出による支援								
/D F /F /F /F	[文]及U/C国体》//L到/								
行った主な活	佐野新都市バス事業連絡協議会を2回(10月・12月)開催し、	事業費計	千円	100	100	100			
動内容)	連行継続の支援及ひ利用促進策等を協議した。 ・令和4年度運行事業に対する事業者の負担金決定・支出 ・運行時刻表作成による利用促進	于未具可	111	100	100	100			
±31 107		一般財源	千円	100	100	100			
		特定財源(国・県・他)	千円	0	0	0			
	・新都市バス20周年記念事業(生活路線バスと共催でのモバイル スタンプラリー)開催による利用促進	(うち受益者負担)	千円	0	0	0			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

上選択して下さい

(コ) 心玉	別によるが未	(す) 宇未別木で肌切りるめ		ノッカモイシ			↓ Æ 3/(U (2 201
		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
+1		佐野新都市線利用者数	人	127,744	100,399	83,372	値が大きいほど良い	効果が下がった
効果説明 クロスグ	運行が継続され、中心市街地や新都市への市民等の来訪に寄与した。	1便平均乗車人数	人/便	13.4	17.0	14.1	値が大きいほど良い	効果が下がった
(定量及び 定性)		市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	人	158,529	166,659	182,153	値が大きいほど良い	効果が上がった
足压)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し	Ж
が田	効果が上がった指標数	1指標	
効果	効果は変わらない指標数	0指標	
(R5とR4の	効果が下がった指標数	2指標]
指標值増減)	指標全体	効果が下がった	1

※10万円以上の増減により判断

				効果	
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費	費用は下がった			
١		費用の増減無し			0
	用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

公共交通全体では利用者数はコロナ禍前の状況に戻つつあるなか、佐野新都市線は利用者数が減少傾向にある。令和5年度においても、赤字収支が見込まれる。学識経験者からは、「公共交通については利用者の利便性向上が第一で、公共交通は基本的に赤字経営であり、将来的に路線の一本化が望ましい。現状ではPR事業を生活路線バスと共に実施して市公共交通の認知度向上と利用促進を図ってはどうか」とのアドバイスを受けた。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

V	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
	事業効果を上げるための事務改善の検討
	事業費の見直し検討
П	業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

令和6年度は関係部署・団体と今後の公共交通の方向性と利用促進策を横断的に協議していくこととなった。

仕事	の振り)返り>	シート(令和5年度	[実施分)				作成·更新日	2024年	F7月29日
事業名	中心市得	5地活性(化基本計画推進事業	実施計画事業or一般事業		施計画事業	市長公約	3-①		該当なし
· ==				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		産業文化ス	ポーツ並は	予算中事業名		会計	— ##	事業計画	単年度組	給い行し
		産業政策課			予算			争業計画 新規or継続		繰り返し 事業
担当中国		まちなか活性	-	市街地活性化基本計画推進		項		市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	121		根拠法令、条例等	771	目		義務or任意	任意的	
	基本目標		L 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業	開始年度		実施方法		i営
政策体系	政策		2 地域資源を活かしたまちづくり	 中心市街地の活性化に関する法律				事業分類		事業
	施策		中心市街地及び地域市街地の活性化		7451	11× J 1/~		ナネルベ		于木
2. 事業 概(1)事第	既要と目的及	とび(基本計	十画期間内)目標値		, 					
事業概要			きを講じるために必要な調査・研究、資料の 本計画の進捗管理を行う。	作成を行う。						
(2)目的	ľ			(3)目標値						
(4/ 11-	9			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				中心市街地歩行者通行量(平日5カ所)	口	4,300	4,400			4,700
(本事業に	中心市街地	也の現状を把]握するとともに活性化に向けた検討を行	市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	千人	150	140	150	160	170
よって成し 遂げたい	い、推進する	る。								
逐りたい 状態)										
									<u> </u>	<u> </u>
3. 前年 度 (1)活動		舌動及び費用	用対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	<u>-</u> ータ及で	び事業費の推移	3		-	
				活動指標	単位	R3	R4	R5	l	
				推進協議会開催回数		0	0	0	1	
]比连 加成公 加 比问 x/		<u> </u>		<u> </u>	1	
活動実績					<u> </u>				1	
心助天順 (R5年度に				· ·					1	
行った主な活	実績なし			事業費計	千円	0	0	0	1	
動内容)				2 11 12 12 1	1		_		4	
				一般財源		0	_	_		
				特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0	1	
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0	1	
/ o \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \				/ · \ ====+==============================			<u> </u>		1 722401 -	- - 1.,
(3) 沽里	動による効果 T	·		(4)事業効果を説明する数			D4	DE	↓選択して	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	SH PSt 1 IESC	R4とR5の比較
効果説明				中心市街地歩行者通行量(平日5カ所) 市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	人	4,716 158,529	5,125 166,659	· · · · · ·	値が大きいほど良い 値が大きいほど良い	効果が上がった
(定量及び		盛んな商業が	地域となっている。	市街地活性化肥設及び公共又連牛田州の田女		150,525	100,005	182,153	個が入さいはといい	効果が上がった
定性)								-	+	
									\vdash	
								<u> </u>		
		果(自動判定		The state of the s				41. m		1
	とR4の一般 「効果が上が		費用の増減無し 2指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	**田代工がつた	1
XII X	効果が上が効果は変わら	らない指標数	0指標	4	費	費用は下がった	別米 か 上 か 기 に	効果は変わりない	効果かトかつに	1
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	うた指標数	0指標	₫ '	用	費用の増減無し	0			1
指标IE-41/W/		指標全体	効果が上がった	4	/13	費用が増加した				i
	度に向けた検 和 5 年度の事		なける反省点、環境変化や関係者からの意	見等を踏まえた検討課題、費用	対効果	向上のための課	題			
なし										
(2) 上評	記反省点及び	/課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	1					
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	を上げるための 見直し検討 効率化のための	上、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) D事務改善の検討 の事務改善の検討	なし						
 ✓	特に検討手	ョ垻無し(垷゙	状維持又は現状の計画通り)							

仕事	の振り	反りシ	⁄-ト(令和5年度	実施分)				作成·更新日	2024年	■7月22日
事業名	栃木県まち	なか元気	記会議参画事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		業文化スポ	² ₩ΦΠ	マ笠山市業々		∆≞⊥	I	中类計型	出人在	得いら
担当組織		乗又化 <i>人</i> / 業政策課	ハーツ音り	予算中事業名 栃木県まちなか元気会議参	予算	会計款		事業計画 新規or継続	単年度: 継続	事業
75二十五小成		ちなか活性	化係	画事業	科目	項		市単独or国県補助		事業
	体系コード	121	名称	根拠法令、条例等	' '	目	2	義務or任意	任意的	
政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業	開始年度	H11	実施方法	直	営
以來冲示	政策		地域資源を活かしたまちづくり	栃木県まちなか元気会議規約	期間	終了年度	_	事業分類	参画	事業
	施策	1	中心市街地及び地域市街地の活性化]					
2. 事業標 (1)事第 事業概要	業概要 中心市街地に	おける都市	画期間内)目標値 「機能の増進及び経済活力の向上を総合に 気会議」に参画する。	的かつ一体的に推進することを目	目的とし	て、調査研究や	P普及啓発活動	か、相互の情報	交換等の取	双組を進め
(2)目的			以公成儿に乡田する。	(3)目標値						
(2) 🗗	ייי			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	出該会議の生	2年#112日家2	や情報収集で得た知識を活かし、本市の	市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	千人	150		150		170
(本事業によって成し			組みの企画立案や既存業務の改善を行							
遂げたい	い、中心市街									
状態)										
3. 前年 原(1)活動		か及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	- - タ及(が事業費の推移	<u> </u>		1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
	【市の活動】			会議出席回数		4	2	3		
	·負担金5万F	円の支出		研修会出席回数		4	3	4		
活動実績	•総会、幹事会	、担当者:	会議への出席							
(R5年度に 行った主な活			研修会への参加		千円	60	50	50	İ	
動内容)	【参画している			2 112 321						
	・総会、幹事会		会議の開催 研修会の開催	一般財源		60	50	50		
	神典云、兀坦	生地悅余、	1711/1955 01 用性	特定財源(国・県・他)	千円	0	0	0		
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
(3)活動	動による効果			(4) 事業効果を説明する数	女値デー	タの推移			↓選択して	下さい
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明				市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	人	158,529	166,659	182,153	値が大きいほど良い	効果が上がった
が未就の			化に関する知識を得ることができ、随時そ							
定性)	の知識を活かし	ノ(関係ず	る事務事業を進めることができた。						-	
(5) 费口	用対効果結果	(白新型字	<u>-</u>)				•		•	
	カ対効未指来 らとR4の一般財源		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上がった	指標数	1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
パプペ (R5とR4の	効果は変わらなり効果が下がった		0指標 		費	費用は下がった	0			
指標值増減)		指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した				
	度に向けた検討 和 5 年度の事業		ナる反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用	対効果	向上のための課	題			
なし										
(2) ⊢≣	記反省占及7篇	押題を踏まる	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
(4/ 上回	ᇦᄉᆸᇒᄶᅜᄚ	ころかい にせは ひへ		取組説明	1					
				IV-1775/0-13	1					

引続き団体参画を通して情報収集を行う。

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

業務時間効率化のための事務改善の検討♥ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

作成•更新日 令和6年6月28日

事業名 佐野市民大茶会開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

		部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当	担当組織 課 文化推進課		佐野市民大茶会開催支援	予算	款	2	新規or継続	継続事業		
		係	天明鋳物ま	ちづくり係	事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	121	名称	根拠法令、条例等		目	17	義務or任意	任意的事業
形合	策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市補助金等交付規則、		11371 1 1	H5	実施方法	一部委託
шхэ		政策	2	地域資源を活かしたまちづくり	佐野市民大茶会開催事業	期間	終了年度		事業分類	支援事業
		施策	1	中心市街地及び地域市街地の活性化	費補助金交付要綱					_

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

中心市街地にあって、市民の憩いの場である万葉の里城山記念館で市民大茶会を開催し、茶道愛好者をはじめとする文化芸術に関心のある市民の交流の場として、ま 事業概要 ちなかの賑わいを創出する。

運営を担う市民大茶会実行委員会に補助金を支出し、活動を支援する。

(2)目的 (3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		市街地活性化施設·公共交通機関年間利用者数	人	158,529	166,659	182,153	160,000	170,000
(本事業に	市民に文化芸術に触れる機会を提供し、来場者を増やすことで、							
よって成し 遂げたい	市街地での回遊を促すとともに、天明鋳物への関心を高める。							
状態)								
,								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

, ,		. ,				
		活動指標	単位	R3	R4	R5
	佐野市民大茶会実行委員会開催(3回)	会議開催回数		2	3	3
	天明鋳物のふるさと佐野市民大茶会10月22日(日)開催	来場者数	人	0	97	346
活動実績 (R5年度に	来場者数346人					
行った主な活		事業費計	千円	0	350	350
231 3117	· 薄茶席(和室)	一般財源	千円	0	350	350
	•立礼席(多目的室)	特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果 (4)事業効果を説明する数値データの推移
↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	
+1		市街地活性化施設·公共交通機関年間利用者数	人	158,529	166,659	182,153	値が大きいほど良い	効果が上がった	
効果説明	来場者数を増やし、市街地での回遊を促すとともに、天明鋳物を使								
(定量及び 定性)	用した茶会を開催することで、天明鋳物への関心を高める。								
ÆIL)									

(5)費用対効果結果(自動判定)

i i	費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果	
	効果	効果が上がった指標数	1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	/	効果は変わらない指標数	0指標		費	費用は下がった			
	(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標			費用の増減無し	0		
ł	旨標値増減)	指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

コロナ禍後、初の城山記念館での開催となった。前回より多く茶券を販売することで、より多くの来場者が参加した。来場者を午前の部と午後の部に分散させることで、感染症対策及び駐車場不足の問題に対処した。次年度以降も引き続き同様の方法で安全安心な茶会運営と駐車場対策を工夫する。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、	休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)
--	----------	------	-----	------	--------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

_ //	
HD &H = H H H	

街なか活性化と市民が文化に触れる機会づくりとして今後も取り組んでいく。

作成•更新日 令和6年6月28日

車業タ 市民ギャラリー管理運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
事業名 い氏イドノソー 6年度占事業	美施計画事業or一般事業	似尹未	い女女い	談当なし	心口料吧	一談当なし
	施策構断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当かし

1. 基本情報

		部	産業文化スポーツ部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	文化推進課		・市民ギャラリー管理運営事業	予算	款	2	新規or継続	継続事業
		係	天明鋳物ま	ちづくり係	「「「以干ドノケ」自生産占事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
Ī		体系コード	121	名称	根拠法令、条例等		目	17	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり			開始年度	H22	実施方法	直営
以末	IXXX PT/IX	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり	佐野市市民ギャラリー条例	期間	終了年度		事業分類	イベント等開催事業
		施策	1	中心市街地及び地域市街地の活性化		,			•	

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

まち 事業概要 市役

まちなか活性化ビル「佐野未来館」 2 階に「市民ギャラリー」を設置し、市民が個人や団体で、作品の展示や音楽、演劇の発表や鑑賞の場を提供する。それにより、中心市街地における人の往来を増やし、活性化を図るとともに、市民が文化芸術に触れる機会の増加につなげる。

施設の管理運営、貸館のほか、音楽や工作等の主催事業を行う。

(2)目的

(3)目標値

Ī			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	目的	· ·	市街地活性化施設·公共交通機関年間利用者	人	158,529	166,659	182,153	160,000	170,000
	(本事業に								
	よって成し 遂げたい								
	状態)								
	,								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
		主催事業の実施回数		3	2	3
\		来館者	人	867	746	1,975
		施設申請利用者	人	23	27	53
イナつたまたさ		事業費計	千円	50	49	42
		一般財源	千円	50	49	42
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
+1	j	市街地活性化施設·公共交通機関年間利用者	人	158,529	166,659	182,153	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明								
(定量及び 定性)								
ÆIT)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し						
か田	効果が上がった指標数	1指標						
	効果は変わらない指標数	0指標						
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標						
指標值増減)	指標全体	効果が上がった						

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し	0		
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

展覧会が多く開催され、来場者数の増加につながった。コロナ禍が明け、市民の文化活動が活発化していることがわかる。 今後も利用促進のため、主催事業によるPRを続ける。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度

車業のたりた投計	/床.上	/ 	=	受益者負担の見直しなど	`
事業の仕り万様計	(廃止、	. 休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

② 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

施設利用申請者や来場者の意見を聞き、それを反映させた取り組みで、施設への関心と利用率を向上させる。

事業名 人間国宝田村耕一陶芸館運営事業 実施計画事業or一般事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当あり スマートシティ 該当なし

1. 基本情報

	部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	課	文化推進課		人間国宝田村耕一陶芸館	予算	款	7	新規or継続	継続事業
	係	天明鋳物まちづくり係		運営事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
	体系コード	121	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市人間国宝田村耕一陶芸	事業	開始年度	H16	実施方法	一部委託
TYNK LLAN	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり	館条例、佐野市人間国宝田村	期間	終了年度	-	事業分類	その他市民に対する事業
	施策	1	中心市街地及び地域市街地の活性化	耕一陶芸館条例施行規則				-	•

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 | .

まちなか活性化ビル「佐野未来館」の1階にあり、年3回の企画展を開催し、人間国宝田村耕一の作品を展示・紹介している。 あわせて、「まちの駅」「赤ちゃんの駅」としても観光情報を提供するなど中心市街地への回遊率の向上を図っている。

(2)目的

(3)目標値

目的
(本事業に
よって成し
遂げたい
状態)

①人間国宝田村耕一氏とその作品に対する理解を深めてもらう。 ②人間国宝田村耕一氏の業績や作品の芸術性が分かりやすく紹介されている。静かな感動と癒しの場が提供されている。必要とされる中心市街地や本市の観光情報が提供されている。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
入館者数 (陶芸館総数)		1,308	1,540	1,788		
まち・赤ちゃんの駅入館者数	人	359	260	323		

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1)/01	が入場		///	于未只约	エリン	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
活動実績 (R5年度に	○企画展 ・所蔵名品50選展(3/3~6/18)	企画展開催回数	回	3	3	3
行った主な活動内容)	・日 CCかる、田村村 ・	事業費計	千円	4,851	707	914
±//F3⊟/	・田村耕一のデザイン展(11/3~2/25)	一般財源	千円	4,805	673	892
		特定財源(国·県·他)	千円	46	34	22
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明
(定量及び
定性)

入館者数は、コロナ前(平成28~30年度)は4000人を超えていたが、令和2年度に1,293人と減少し、その後は徐々に増えている。ただし、まちの駅・赤ちゃんの駅での入館者数は令和2年度の186人より増えたが、令和3~5年度は横這いの状況である。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	İ
τ	入館者数(陶芸館総数)	回	1,308	1,540	1,788	値が大きいほど良い	効果が上がった	
()	まち・赤ちゃんの駅入館者数	人	359	260	323	値が大きいほど良い	効果が上がった	
)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
か田	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した	0		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

コロナ禍を経て入館者数が減少し、徐々に増えつつあるものの、コロナ前に比べると格段に減少した状況が続いているため、入館者数の増加が課題。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、	休止、	再編成、	受益者負担の見直した	よど)
--	----------	------	-----	------	------------	-----

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

引き続き、広報紙、マスコミ、インターネット、専門情報誌等を通じて積極的にPRを行い、関係機関にポスターの掲示やパンフレット配布の協力を依頼するなどを行うほか、令和6年度は人間国宝田村耕一陶芸館が開館20周年を迎えるため、記念事業を行い、入館者数の増加を図る。

仕事	の振り	返りシ	√−ト(令和5年度	実施分)			作	成・更新日	令和6	年8月8日
事業名	市営駐車	場維持管	理事業	実施計画事業or一般事業	—;	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			- 	施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	青報									
	部	産業文化スプ	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	産業政策課		市営駐車場維持管理事業	予算	款	7	新規or継続	継続	事業
	係	産業政策係			科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	121	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	的事業
政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市駐車場条例、	事業	開始年度	S53	実施方法	一部	委託
IXW IT/N	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり	佐野市駐車場条例	期間	終了年度	-	事業分類	施設維持	管理事業
	施策	1	中心市街地及び地域市街地の活性化	施行規則						
2.事業 概 (1)事業 事業概要	き概要 ・中心市街は ・この事業で	也における道! 維持管理する	画期間内)目標値 路交通の円滑化と、市民および観光客のでる駐車場は、万町駐車場、田沼駅前駐車 ほ駅前は利用料金を徴収、それ以外は無料	場、田沼角町駐車場、田沼仲		場、葛生駅	南駐車場為	及び葛生駅	北駐車場で	である。
(=) = ((-) =						
(2)目的	J			(3)目標値	뉴 / 구	D2	D.A	DE	DC	D.7
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	本計者が由	心击结地に	車で来訪しやすくなる、また市民が中心市	施設維持管理上の 来訪者からの苦情件数	件			0	0	0
(本事未に			くなるように、市営駐車場がいつでも快適	不切石がりの古頂什奴						
遂げたい			でであるが、17日間11年7997 V12 COK/20 で記述されている。							
状態)	10/13/13/3		ロー生がある。							
3. 前年 度 (1)活動		動及び費用	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ 活動指標 営業日数	ータ及び 単位 日	が事業費のi R3 365	推移 R4 365	R5 365		
行った主な活		号、田沼駅前駅 の利用となっ ⁻	駐車場は機械による管理を行い、それ以 ている。	事業費計	千円	0	6,965	7,065		
動内容)					千円	0	6,965	7,065		
				特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0		
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
(3)活動	かによる効果				で値データ	タの推移			' ↓選択して	下さい
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
+1				施設維持管理上の来訪者からの苦情件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
効果説明	済却か等理	に FN 芋/桂/サ	数は0。引き続き円滑な管理を行う。							
(定量及び 定性)	週切な目生	により白油汁	女はもの。これで一角な目達で1〕。							
X-11-)										
(5)費用	対効果結果	2(自動判定	₹)							
	とR4の一般原		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断				効果		
	効果が上が	った指標数	0指標	The state of the s			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果 (R5とR4の	効果は変わら		1指標		費	費用は下がった				
指標值増減)	効果が下が	つに指標致 指標全体	0指標 効果は変わらない		用	費用の増減無し		\circ		
		JU IN T. LT.	707-103217316V·	•						
4. 次年度	きに向けた検	討								

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

取組説明

田沼仲町駐車場のトイレットペーパーの詰め替え作業は職員が行っている。

来年度は、新紙幣が発行されるため、利用者が円滑に利用できるように早めの対応を行う。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討
□ 事業費の見直し検討
☑ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

トイレットペーパーの詰め替え作業を業者に委託する。精算機の新紙幣対応の改修を行う。

作成·更新日 令和6年8月6日

事業名 佐野駅自由通路施設管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
·	施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情報						

1.	基本	情報

	部	都市建設部	3	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	課	都市計画課	1	佐野駅自由通路施設管理事業	予算	款	8	新規or継続	継続事業
	係	計画係		化的新日山地的地区日生学来	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独事業
	体系コード	121	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市佐野駅自由通路条	事業	開始年度	H15	実施方法	一部委託
IXXX PT/IX	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり	例、佐野市佐野駅自由通路	期間	終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	中心市待地及び地域市待地の活性化	条例施行規則					

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要

佐野駅自由通路の良好な維持管理を図る。

自由通路の清掃、エレベーター2基、エスカレーター1基、照明及び防犯カメラの適正な維持管理を行う。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		施設のトラブル件数	件	0	0	0	0	0
(本事業に よって成し	・施設を安全で快適な状態に維持する。							
よっ (成し 遂げたい								
状態)								
D (ICK)								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(- ,		(-) .	,,,,,	3 2142 4 23		
	1 主要な取組	活動指標	単位	R3	R4	R5
	(1) 佐野駅自由通路点検業務委託 ①概要 供用開始後20年を経過していることから、目視点検を	清掃回数/日		1	1	1
	実施し、点検結果を踏まえ、修繕方針を決定した。	エレベーター等保守点検回数/月		12	12	12
活動実績 (R5年度に	②委託期間:令和5年7月3日~令和5年8月31日 (2)電撃殺虫器設置					
行った主な活動内容)	①概要 自由通路内におけるカメムシの異常発生に対応するた	事業費計	千円	5,940	6,712	6,658
331 JL1/	め、通路内2箇所に電撃殺虫器を設置 ② 履行期間:令和6年3月6日~令和6年3月29日	一般財源	千円	5,940	6,712	6,658
	2 施設管理 業務委託により、自由通路の清掃及びエレベーター	特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0
	2基・エスカレーター 1 基の保守管理を行った。	(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
±1 cm = 1 nn		施設のトラブル件数	件	0	2	1	値が小さいほど良い	効果が上がった
効果説明	・自由通路におけるトラブル件数が減少した。							
(定量及び 定性)								
ÆIL)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

	37 3773-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	=/
費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指 煙 全休	効里が 上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果					
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
I	費	費用は下がった						
ı		費用の増減無し	0					
	用	費用が増加した						

4. 次年度に向けた検討

- (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題
- ・自由通路目視点検の結果、鉄骨部分の錆及び塗装の剥がれ等、施設の劣化が認められることから、修繕方針を検討の上、令和6年度に再塗装工事を行うこととした。
- ・また、線路敷き内の塗装工事の実施に向け、鉄道会社と協議を行う必要がある。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(廃止、休止、	再編成、	受益者負担の見	直しなど
事業効果を上げるた	かの事務さ	を きょう がっこう かんりゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう はいしゅう はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	討	

☑ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

令和6年度に、自由通路鉄骨部分(柱・梁)の再塗装工事を実施する。

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分) 作成・更新日 令和6年6月28日								
業名	市道佐里	予5 7号線道路改良事業	実施計画事業or一般事業	実施	計画事業	市長公約	5-⑦	総合戦略 該当
*************************************	1.15%= 12.2		施策横断的な取組との関連性				- 0	スマートシティ 該当
基本情								
I / & 🗆 & +h	部	都市建設部	予算中事業名		会計		事業計画	
当組織	課 係	道路河川課 道路建設係	市道佐野 5 7 号線 道路改良事業	予算 科目	<u>款</u> 項	2	新規or継続 市単独or国県補助	継続事業 国県補助事
	体系コード	121 名称	根拠法令、条例等	1411	目		義務or任意	任意的事業
	基本目標	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづく		事業	開始年度		実施方法	一部委託
策体系	政策	2 地域資源を活かしたまちづくり	道路法、道路構造令		終了年度		事業分類	施設等整備
	施策	1 中心市街地及び地域市街地の活性化			112 1122			
事業 机 1)事業		なび(基本計画期間内)目標値						
業概要		、中心市街地道路整備基本計画に位置付けられてお ていく。 (全体事業 工事延長 L=70m、道路幅				間や本庁会	らへの円滑が	なアクセスを目的
2)目的	内		(3)目標値					
745			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6 F
目的 事業に	,,,,,,		整備率(事業費ベース)	%		55.6	100.0	
・事業に oて成し		自転車利用者の安全確保を図る。						
さげたい	•	の円滑な通行を図る。						
伏態)								
							I	<u> </u>
		舌動及び費用対効果)説明		` <i>5</i> 77.7	で古光帯でも	H14		
1)活動	助夫領 		(2)活動を説明する数値デ 活動指標	単位	予果買の R3	性移 R4	R5]
					_			!
	【今和4年	和4年度繰越】	工事延長	m	0	0	0	
€1. CD	・用地買収		用地買収	m	77	131	82	
動実績 5年度に	・物件補償		物件補償	件	5	1	5	
た主な活			事業費計	千円	21,289	10,593	21,203	
内容)	【令和5年月		一般財源	千円	11,789	1,884	6,516	
	*追路以及	工事 L=71.7m(令和6年度へ繰越)		千円	9,500	-	14,687	
			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		3,300	0,703	14,007	
			(うち受益者負担)	千円]
3)活動	動による効果		(4) 事業効果を説明する数		りの推移		T	↓選択して下さ
			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質 R4とR
果説明			整備率(事業費ベース)	%		38.5	60.1	値が大きいほど良い 効果が
定量及び	道路改良	上事完成後(R 6 年度)に効果が見込まれる						
定性)								
5)費月	用対効果結果	果(自動判定)						
用(R5	とR4の一般	財源増減) 費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果	
効果	効果が上が				#8474	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
R5とR4の	効果が下が	5ない指標数 0指標 った指標数 0指標		費	費用は下がった 費用の増減無し			
票值増減)		指標全体 効果が上がった		用	費用が増加した	0		
1) 令和		討 ■業実施における反省点、環境変化や関係者からの意 工事が令和6年度に繰越され完成が遅れたため、早		対効果に	<u> う上</u> のための)課題		
	事業の在り 事業効果を	が課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取った 方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) :上げるための事務改善の検討 ・「良し検討	取組説明					

事業名 人間国宝田村耕一陶芸館運営委員会運営事業 実施計画事業or一般事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当あり スマートシティ 該当なし

1. 基本情報

		部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	文化推進課		人間国宝田村耕一陶芸館	予算	款	7	新規or継続	継続事業
		係	天明鋳物まちづくり係		運営委員会運営事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
ĺ		体系コード	121	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市人間国宝田村耕一陶芸		開始年度	H16	実施方法	直営
	IXXX PT/IX	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり	館条例、佐野市人間国宝田村	期間	終了年度	-	事業分類	その他市民に対する事業
		施策	1	中心市街地及び地域市街地の活性化	耕一陶芸館条例施行規則					

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

人間国宝田村耕一陶芸館の円滑な運営を図るため、運営委員会を設置している。

業概要 ┃陶芸館で開催する企画展の内容をはじめとする事業運営全般について、運営委員会で協議している。

委員は、学識経験者、関係機関・団体を代表する者及び市職員9名で構成されている。

(2)目的 (3)目標値

	①適正かつ円滑な運営が図られる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
ניים	②人間国宝田村耕一の業績や作品を広く紹介する展示内容が確	管理運営上のクレーム件数	件	0	0	0	0	0
(A-1-)								
	よって成し、保される。							
遂げたい 状態)	③人間国宝田村耕一の業績や作品の芸術性の高さを知ってもら							
1人思)	<u>්</u> ටිං							

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1)/11	が入場		2) 冶新飞机引擎数距, 7次0 子来真的距离				
		活動指標	単位	R3	R4	R5	
	令和5年11月28日開催 議題:正副委員長の選任につい で、企画展示部会委員の指名について、令和6年度企画展	運営委員会の開催回数		1	1	1	
\7.31.\doc_1.\do		企画展示部会の開催回数		1	1	1	
活動実績 (R5年度に							
行った主な活動内容)		事業費計	千円	54	38	61	
±//F3⊟/		一般財源	千円	54	38	61	
		特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0	

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
**********		管理運営上のクレーム件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
効果説明 /宝号でご	受付業務が業務委託になったが、受付の丁寧な対応ができている							
	ので、クレームは来ていない。							
X.II.)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R	5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し		0	
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

運営委員の女性委員割合が低いため、委員改選時に検討する必要がある。また、令和6年10月末で人間国宝田村耕一陶芸館が入っているまちなか活性化ビル受付等業務 委託の契約期間が満了を迎えるため、契約業者が変更になった場合、円滑な業務移行ができるようにする。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(廃止	休止	再編成	受益者負担の目直し	ガど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

まちなか活性化ビル受付等業務委託業者が変更になる場合は、まちなか活性化ビル担当部署と連携して契約業者にはこれまでと同様、受付等業務が円滑に行えるようにする。

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

仕事	の振り	ル区リン	ノート(令和5年度	5美施分)				作成·更新日	2024	1年8月5日
事業名	まちなか	回遊促進	事業	実施計画事業or一般事業	実加	施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		I				T		1	T 11/1	
	部	産業文化ス		予算中事業名		会計		事業計画		度のみ
担当組織	課	産業政策課	•	まちなか回遊促進事業	予算	款		新規or継続		事業
	係	まちなか活性			科目	項		市単独or国県補助		独事業
	体系コード	121		根拠法令、条例等	VII/	目		義務or任意		的事業
政策体系	基本目標		魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり			開始年度		実施方法		多託 1888年第
	政策 施策		地域資源を活かしたまちづくり 中心市街地及び地域市街地の活性化	なし	期間	終了年度	Re	事業分類	イベント寺	開催事業
2. 事業 机		とび(基本計	画期間内)目標値							
事業概要	まちなかを必		開催することで、中心市街地及び地域市行	封地の回遊を促進するとともに各店	舗のPR	を図る。				
(2)目的	j			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				スタンプラリー応募者数(累計)	人	0	() (100	(
(本事業に	中心市街地	也及び地域市	街地の来訪者が増加し、出店者同士の	交 参加店舗数	店	0	0	0	20	0
よって成し 遂げたい	流が促進さ	れ、人の交流	が盛んな商業地域となる							
状態)										
3. 前年原 (1)活動		舌動及び費用	引対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ 活動指標	ータ及び単位	事業費の推移 R3	R4	R5	7	
									4	
				業務委託発注回数	回	0	() (<u>'</u>	
注新字 结										
活動実績 (R5年度に										
行った主な活	実績なし			事業費計	千円	0	() ()	
動内容)				一般財源	1	0	()	
					-	_		1	-	
				特定財源(国・県・他)	千円	0			0	
				(うち受益者負担)	千円	0	() (<u>)</u>	
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	対値データ	の推移			↓選択して	て下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5		R4とR5の比較
				スタンプラリー応募者数(累計)	人	0	() (
効果説明				参加店舗数	店	0	0	0		
(定量及び 定性)	なし									
足注)										
/ E \ # E		ロ / ウチい のご				•		1		
		果(自動判定		W. J. O. T. T. D. L. O.				***		1
	とR4の一般 効果が上が		費用の増減無し の指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 対果は変わらない	効果が下がった	1
効果 (R5とR4の	効果は変わり	うない指標数	0指標 0指標 0指標		費	費用は下がった	7637K13 ±13 310		7,37100 10 210	
指標值増減)	効果が下が	つに指標致 指標全体	り指標 効果は変わらない		用	費用の増減無し		0	+	1
	きに向けた検 [] 5 年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意	見等を踏まえた検討課題、費用対	対効果向	上のための課是	<u> </u>			
なし										
, ,			えた、令和6年度及び令和7年度の取組 こ、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	取組説明]					
_	事業費の見	直し検討	事務改善の検討の事務改善の検討	なし						

仕事	の振り)返り>	ノート(令和5年度	実施分)				作成·更新日	2024	F7月23日
事業名	まちなかえ	舌性化ビル	PCB廃棄物処理事業	実施計画事業or一般事業	-	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	_			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	青報 部	産業文化ス	+° W#1	予算中事業名		∆≣∔		事業計画	出左	宴のみ しゅうしゅ
担当組織	課	産業政策課		サ昇甲争乗石 まちなか活性化ビルPCB廃棄	予算	会計款		争耒計 画 新規or継続		事業
7年二十四小氏	係	まちなか活性		物処理事業	科目	項		市単独or国県補助		虫事業
	体系コード		名称	根拠法令、条例等	' '	目	2	義務or任意		内事業
政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物	事業	開始年度	R5	実施方法	一部	委託
以來体糸	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり	の適正な処理の推進に関する特別 措置法、廃棄物の処理及び清掃に	期間	終了年度	R5	事業分類	施設維持	管理事業
2. 事業 相 (1)事業			中心市街地及び地域市街地の活性化 画期間内)目標値	関する法律	J					
事業概要			いるPCB含有の変圧器の処分を行う事業で るため、処理資格を有する事業者に適切に		当該施 設	どでで使用してい	いたものであり、I	PCB廃棄物特	別措置法は	基づき適
(2)目的	ሳ			(3)目標値		_				
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
(本事業に	DCD 医弃州	께부민I#목감	において処分が必要とされるPCB含有機	未処分のPCB含有機器	器	1	1	0	0	0
よって成し			施設の安全で安定な運営を継続する。							
遂げたい 状態)	عارو في الله	.X2710() IIV								
177,64)										
3. 前年 原 (1)活動		舌動及び費用	月対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ活動指標	- ータ及び 単位	が事業費の推移 R3	Ş R4	R5	1	
				PCB含有機器の適正処分		0		_		
(113 +1210	た。また、ま	忠定を受けた処分事業者へ、該当機器の無害化処理を委託し。また、まちなか活性化ビルから処分場への運搬を事業者に委託た。なお、業者選定と契約については、財産活用課が一括して 行った。		事業費計 -般財源 特定財源 (国・県・他) (うち受益者負担)	千円	0 0 0	0 0	33 33 0		
(3)活動				(4) 事業効果を説明する数	√値デー	クの推移			・ ↓選択し ⁻	て下さい
	WC & O XII A	:		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
				未処分のPCB含有機器	器	1	1		値が小さいほど良い	効果が上がった
効果説明	斗≣玄描 <u>显</u> 7	で促答またけん	使用しているPCB含有機器がなくなった。							
(定量及び 定性)		不日めんは	た用している「CDA特別ないなりに。							
,										
		果(自動判定	1	7						1
費用(R5	とR4の一般	,	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断			か田ゼトゼ~+	効果 か即けずわらかい	Ahm +(
効果	効果は変わ	<u>らた指標数</u> らない指標数	1指標 0指標	+	費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果か下がった	1
(R5とR4の 指標値増減)		うた指標数 指標全体	0指標 効果が上がった		用	費用の増減無し	0			
4. 次年度	度に向けた検 115年度の	·····································	対来がエかった ける反省点、環境変化や関係者からの意見	』 見等を踏まえた検討課題、費用			L B B			1
なし										
	事業の在り 事業効果を 事業費の見	方検討(廃止 と上げるための 引直し検討	えた、令和6年度及び令和7年度の取組 は、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 の事務改善の検討	取組説明 目的を達成したため、令和 5 年] 	って事業終了				
_			が事物以音の決計 は維持又は現状の計画通り)							

☑ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

作成:更新日 2024年7月23日

事業名 まちなか活性化ビル管理運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

		部	産業文化スプ	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	産業政策課		まちなか活性化ビル管理運営	予算	款	7	新規or継続	継続事業
		係	まちなか活性	:化係	事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
İ		体系コード	121	名称	根拠法令、条例等			2	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業	開始年度	H22	実施方法	一部委託
	以水件水	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり		期間	終了年度	_	事業分類	施設維持管理事業
		施策	1	中心市街地及び地域市街地の活性化				•	•	

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

まちなかの賑わい創出及び情報発信の拠点施設として、各階の事業が適正に実施され、利用者が快適に過ごせるよう維持管理を行う。また、建物北側外壁に設置された電事業概要 光掲示板や館内での情報掲示等により情報の発信を行う。

【各階利用状況】1階「人間国宝田村耕一陶芸館」、2階「市民ギャラリー」、3階「チャレンジショップ」

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		施設管理上の瑕疵による事件事故の発生件数	件	0	0	0	0	0
(本事業に	施設管理上の瑕疵による事件事故の防止及び各階の事業の適正	まちなか活性化ビル利用者	人	5800	5900	6000	7000	8000
よって成し 遂げたい	実施を推進する。また、施設全体の利用者を増加させる。							
状態)								
17 (751)							-	

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(-)	***	(-)	,,,,,	3 2/42 (-31-12		
		活動指標	単位	R3	R4	R5
【主な委託業務】	・必要な業務委託の発注とその検査	業務委託実施件数	件	9	11	9
	(主な委託業務) 受付等業務、清掃業務、機械警備業務 等	修繕・工事・設備購入発注件	件	4	7	8
	F > 1. 1-14	電光掲示板掲示回数		22	25	25
· 行った主な活 動内容)	防火シャッター修繕及び蓄電池交換、排煙窓修繕 等	事業費計	千円	12,746	18,606	15,368
期内合)	・電光掲示板のへの掲示作業 【掲示内容の例】	一般財源	千円	12,619	18,468	15,250
	・チャレンジショップ出店者紹介、火災予防や交通安全啓発等	特定財源(国·県·他)	千円	127	138	118
		(うち受益者負担)	千円	127	138	118

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	事件や事故等なく施設を利用してもらうことができ、各階の事業の	施設管理上の瑕疵による事件事故の発生件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
効果説明	実施に貢献できた。	まちなか活性化ビル利用者	人	7,477	6,189	6,860	値が大きいほど良い	効果が上がった
(定量及び 定性)	電光掲示板や館内でのポスター掲示等を通して、情報発信を行う							
ƌ)	ことができた。							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった	0		
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

設備の老朽化等に伴い空調設備や給排水設備、電気設備の突発的な不具合がほぼ毎年発生している状況で、職員の現場対応や想定外の事務が発生している。そのため、安全面や 各階の事業の継続性等のリスク、経年劣化等による不具合発生の可能性等を総合的に判断して、修繕や改修の実施を検討・実施する。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、	受益者負担の見直しなど)
------------	-------------	--------------

▼ 事業効果を上げるための事務改善の検討

▼ 事業費の見直し検討

☑ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

技術センターや専門業者等の意見を聞きながら、必要な修繕等は先回りして実施する。

作成·更新日 2024年7月11日

事業名	まちなかえ	舌性化支援事業	実施計画事業or一般事業	実が	計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり	
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし	
1. 基本	1. 基本情報									
	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度網	繰り返し	
							+	/ total /		

	部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	課	産業政策課		まちなか活性化支援事業	予算	款	7	新規or継続	継続事業
	係	まちなか活性	化係	よりなが心は心又接事未	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	121	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市まちなか活性化事業補助金	事業	開始年度	H19	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり	交付要綱	期間	終了年度	_	事業分類	支援事業
	施策	1	中心市街地及び地域市街地の活性化	~13~**					

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要

中心市街地及び田沼・葛生の地域市街地エリアを活性化させるため、対象区域内の空き店舗等(空き家含む)を活用して出店する事業者へ、店舗の改装費用と家賃に対して補助金を交付する。

(2)目的

(3)目標値

Ī			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	目的	に 低未利用の空き店舗等が減り、まちなか来訪の目的となる店舗が 増え、またなかみのでまままれば増える	中心市街地空店舗活用件数	件	55	60	65	70	75
	(本事業に		地域市街地空店舗活用件数	件	2	4	6	8	10
	よって成し 遂げたい		市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	千人	150	140	150	160	170
	状態)								
	J3.7								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

, ,		(,				
	【市の活動】	活動指標	単位	R3	R4	R5
活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	空き店舗等を活用する事業者に家賃・店舗改装費に要した経費 への補助金を支出するための手続きを行うとともに、相談業務を実施した。また、不動産事業者や創業希望者等に対しての補助金の周知活動や補助金活用者に対してのまちなか情報の提供等を行った。 【支援した団体・個人の活動】 まちなかでの空き店舗を活用して、飲食業や小売業等のまちなかに	相談件数	件	16	40	40
		交付決定件数	件	2	2	3
		事業費計	千円	3,934	4,231	9,957
		一般財源	千円	2,934	1,231	0
		特定財源(国·県·他)	千円	1,000	3,000	9,957
	来訪者を増やす事業を展開した。	(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
目さ	中心市街地空店舗活用件数	件	63	67	78	値が大きいほど良い	効果が上がった
供	地域市街地空店舗活用件数	件	2	2	3	値が大きいほど良い	効果が上がった
生	市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	人	158,529	166,659	182,153	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
効果	効果が上がった指標数	3指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった	0		
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

田沼・葛生エリアの対象地域が狭く活用しにくい補助金となっているとあそ商工会から意見があり、令和6年度は補助対象区域の拡大を行い、当該エリアでの出店及び空き物件活用を推進させる必要がある。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
V	事業効果を上げるための事務改善の検討
	事業費の見直し検討
$\overline{\Box}$	業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

令和6年4月1日より田沼・葛生エリアの対象区域を拡大し運用している。継続して補助制度の周知を図るとともに、貸し手側への空き店舗等の活用の啓発等を行う。

仕事	仕事の振り返りシート(令和5年度実施分) 作成·更新日 2024年7月30日										
事業名	事業名 まちなか活性化推進協議会支援事業 実施計画事業or一般事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当な									該当なし	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情											
				予算中事業名		会計		事業計画	単年度終		
		産業政策課		■ まちなか活性化推進協議会支援事業		款		新規or継続	継続		
		まちなか活性	- · - · · ·		科目	項		市単独or国県補助	市単独		
ŀ	体系コード	121	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的	事業	
政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり			開始年度	H20	実施方法	直	営	
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり	中心市街地の活性化に関する法律	期間	終了年度	_	事業分類	その他市民に	対する事業	
	施策	1	中心市街地及び地域市街地の活性化								
(1)事業	業概要 		画期間内)目標値 活性化するために策定した「佐野市中心市		ーーー		進協議会を発	足し、交付金を	· 交付するこ	とにより運	
事業概典	営支援を行										
(2)目的	勺			(3)目標値							
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
目的				中心市街地歩行者通行量(平日5カ所)	人	4,300	4,400	4,500	4,600	4,700	
(本事業によって成し	中心市街地	1の現状を把持	握し、民間主導で活性化に向けた検討を	市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	千人	150	140	150	160	170	
遂げたい	行い、中心	市街地の活性	生化を推進する		<u> </u>						
状態)											

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1) 石動入根			子来兵动压的		
	活動指標	単位	R3	R4	R5
	協議会開催回数	回数	0	0	0
活動実績 さのまちづくり(株)による中心市街地活性化に関する協議会設置に (R5年度に 向けたワーキンググループ会議 (市・商工会議所・さのまちづくり					
行った主な活 (株)) を1回開催(3月)。	事業費計	千円	0	0	0
動内容)	一般財源	千円	0	0	0
	特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0
	(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		中心市街地歩行者通行量(平日5カ所)	人	4,716	5,125	5,675	値が大きいほど良い	効果が上がった
		市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	人	158,529	166,659	182,153	値が大きいほど良い	効果が上がった
							値が大きいほど良い	
			,					

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し		
か田	効果が上がった指標数	2指標		
	効果は変わらない指標数	0指標		
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標		
指標值増減)	指標全体	効果が上がった	1	

※10万円以上の増減により判断

		効果				
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
費 用	費用は下がった					
	費用の増減無し	0				
	費用が増加した					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

さのまちづくり(株)は令和7年度中の協議会設立を目指して準備を進めており、第2次中心市街地活性化基本計画の進捗管理にも大きく影響するため、緊密な連携を取る必要がある。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年月	度の取組
--------------------------------	------

	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
	事業効果を上げるための事務改善の検討
	事業費の見直し検討
П	業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

令和6年度においても、さのまちづくり(株)による中心市街地活性化に関する協議会設置に向けたワーキン ググループ会議(市・商工会議所・さのまちづくり(株))に参画。

協議会設立時期を注視し、設立後の運営補助金等の予算を検討する。

仕事	の振り)返りシート(令和5年度	実施分)				作成·更新日	2024年	F7月11日
事業名	まちなかえ	活性化推進事業	実施計画事業or一般事業		施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		産業文化スポーツ部	マ笠山屯衆々	1	! ∧= ⊥		T÷₩÷1⊞	単年度	/P/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
担当組織	課	産業文化スポーツ部 産業政策課	予算中事業名	予算	会計款		事業計画 新規or継続	単年度組織	
担当和城		生業以未課 まちなか活性化係	まちなか活性化推進事業	科目	<u></u> 項		和	施 市 単	
	体系コード		根拠法令、条例等	171	目		義務or任意	任意的	
	基本目標	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	中心市街地の活性化に関する法律	事業	開始年度		実施方法		営
政策体系	政策	2 地域資源を活かしたまちづくり	- 地域おこし協力隊推進要綱 - 佐野市地域おこし協力隊員設置要 -		終了年度		事業分類		こ対する事業
2. 事業 概 (1)事業		1 中心市街地及び地域市街地の活性化 及び (基本計画期間内)目標値	細]					
		い創出等業務委託をさのまちづくり(株)へ発注し、空き店		NSによ	るまちなか情報	の発信等を実施	施し、まちなかの	賑わい創出	を図る。
(2)目的	<u> </u>		(3)目標値				1	1	
目的			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
(本事業に			中心市街地歩行者通行量(平日・5カ所) 市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	人 千人	4,300	· · · · · ·	,		4,700 170
、 よって成し	人流·店舗	が増えることで、中心市街地の賑わいを創出する。	市街地活性化施設及び公共×連キョバの自身	十八	150	140	150	160	1/0
遂げたい									
状態)									
3. 前年 度 (1)活重		活動及び費用対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ活動指標	- ータ及び 単位	グ事業費の推移 R3	R4	R5]	
			業務委託実施件数	件	1			1	I
活動実績				17				<u> </u> 	
(R5年度に 行った主な活		:化」促進のための施策を推進する基礎資料作成(空相談業務、SNSまちなか情報発信等)	事業費計	千円	7,168	7,168	4,158		ļ
動内容)	·歩行者通	行量調査	一般財源	千円	4,499		,	1	
						,			
			特定財源(国・県・他)	千円	0	0	0]	
			(うち受益者負担)	千円	0	0	0		ļ
(3) 注重	動による効果		(4) 事業効果を説明する巻	(4) 事業効果を説明する数値データの推移			- ↓選択して	て下さい	
(3) /山玉	MCG DAJA		効果指標	単位	R3	R4	R5		R4とR5の比較
			中心市街地歩行者通行量(平日5カ所)	人	4,716			値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明(定量及び	人の交流が	ざさかんな商業地域となっている。	市街地活性化施設及び公共交通年間利用者数	人	158,529.0	166,659.0	182,153.0	値が大きいほど良い	効果が上がった
(足里及び)	人の文派が	Cが70体向来地域になりている。							
							 		
	<u> </u>						<u> </u>		
		果(自動判定)	-						į i
費用(R5	とR4の一般		※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	*********	
効果		<u>2指標</u> 6ない指標数 2指標 0指標	† r	費	費用は下がった	効果が上がうに	刈未は変わりない	効果かトかつに	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	がた指標数 0指標 指標全体 効果が上がった	ļ	用	費用の増減無し費用が増加した				
4. 次年 度 (1)令和		検討 事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見		対効果		題			
		さのまちづくり㈱等と連携し活用方法についてさらに検討を							
(2) 上記	戊又省点及(び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	1					ļ
		方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) アトげるための事務改善の検討	4人が出る元 4万	<u> </u>					

遊休不動産について、さのまちづくり㈱等と連携し活用方法についてさらに検討を行っていく。

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

業務時間効率化のための事務改善の検討特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討